

(1) 1982年1月15日

燎

原

(月1回)  
(1日発行)

第22号



京都の民主運動史を語る機関誌

発行所  
燎原社

〒606 京都市左京区  
東竹屋町・川端東入る  
部落問題研究所内  
電話 京都761-2141番  
振替口座京都 6-15762番

発行人  
木村京太郎  
1部 200円(税込)  
年 2,000円(税込)

# 百首音

1982年元旦

京都の民主運動史  
を語る会

古館三徳書



寒梅

石田昭子画

## 新らし歴史に生きる

住 谷 悅 治

年頭にあたり、つっしんで会員の皆さまの御健康と御多幸を祈り上げます。

移に目を奪われる想いがしている。

一日一日が新しい歴史と共にするという実感が強い。過去の体験と照応しながら歴史は二度と繰り返すことはないという自問自答をしつゝも、国防費や自衛隊が増強されていくのを見ると、これでは困るという時代への拒絶反応が強くなる。これは、なにも老いの一徳というものではない。貴重な歴史を生き抜いてきた私たちの世代の体験と生活防衛的な知恵や、いまはやりの熟年という年輪からくる本能的な感覚のようなものから湧いてくる時代への警戒である。

1. 1 一九八一年度事業並びに会計報告、承認  
1. 2 一九八二年度事業運営について  
2. 3 世話人の増員と改選について  
4. その他

## 1982年を迎えての所感

時の過ぎ去るのがとかく早く感じるようになりました。明治・大正・昭和を生き抜き、激動する日本と共に私たちの人生もゆれにゆれて今日に至っています。監獄にぶち込まれ、軍隊で辛酸をなめ、戦後の荒廃のなかでなんとか生活を切り開いてきましたが、いま、私たちの周囲を見廻してみると、なんと多くの同志たちが幽明境を異にしていることであろう。

同じ時代に生き、同じ苦労を味わい、同じ思想と信条と、そして、運動と共にしてきた友人の多くが、この地上から姿を消している。私は歴史が一つ消えていくような寂寥を感じるが、しかし、歴史は、個人の感傷や人生にはおかまいなしに新しい時代を築いていくようである。中国の動き、隣国朝鮮・韓国の動き、中近東や欧米諸国の動き、それと連の動向など、私は毎日、新聞の活字を追いかながら時代の推

て、毎月の定例研究会、会誌「燎原」の月刊も順調に進んでいます。とくに本会の財政は、会費、誌代、および各方面からの広告料とカンパによって、赤字を出さずに運営できることは、何よりよろこばしく、有難く思っています。そして、本会は、昨年の総会で、会計年度を一月初から十二月末までと改めることにいたしました。

それで、新年度（一九八二年）の定例総会（三回）を左記の通り開きます。  
とき、一月二三日（土）午後一時より  
ところ、上京区北野一番町立本寺（電話 四六一―六五一六番  
(上京区千本中立売七本松通下る西側)

## 1981年度総会（懇談会）ご案内

### 1月23日・北野立本寺にて

#### 一、参加費

本年は、自民党政権による、福祉、教育、健康保持費を抑止し、軍備増強と大企業優先の事業費を拡大する予算を決定しました。それに来る四月には自民党の出先機関として林田京都府政の任期満了による改選が行われます。私たちは前回の雪辱戦として、民主党政権のため全力をあげて闘わねばなりません。それには、自民党政権の悪政を明らかにして、國民大衆の心を捉えることが何より大切です。私たちはどうして、それを実現するかについて、今回の総会で、十分に話し合い、力を合せて闘い、勝ち抜く相談をいたしたいと存じます。

一九八二年一月十日

京都の民主運動史を語る会

## 「燎原」に期待する

細野武男

(1)

八〇年代も第二年度を迎えて、昨年物故された多くの敬愛する友人に對し哀悼の想いを新たにするとともに、残された私たち一人前以上に元気に活動したいと念願します。

(2)

「燎原」であつたし、もう一つ全力を投じたのが「日本の平和と民主主義の実現を目指す懇談会」の活動だったと、私に話していただけた、「平民懇」に加わっている私は「燎原」に期待するところ大きいことを、くり返しておきます。

(3)

この頃の世の中は情報社会と言われるだけに、マス・コミのもつ威力の大きさは今更言うまでもありません。しかし、マス・コミのえがく世界を私たちには、本当の世界だと錯覚します。私たちの現実の環境と似て非なる環境が日本アルプスの山々が示す美しい自然とともに、恐慌に打ちひしがれた信州の社会でした。お米を作った農民がお米を食べられなくて、草や木の皮を口にしているのに、お米が余り値段が下つて困るので、政府がお米の値段を吊り上げて地主を擁護する。これこそ「豊富の中の貧困」という最大の社会問題であり、現象こそ違うが今日でも同じです。高度経済成長で物に埋つた人間が多くなったが、人間の心は今までに見られなかつたほど貧しくなつてしまつたが、これもまた「豊富の中の貧困」と言えるでしょう。

(4)

今日この頃、またいつか来た道、十五年戦争の道を再び歩むのではないかと危惧の念をもつ人は圧倒的に多いばかりでなく、あの道を歩むことを否定する人の方は断然多い、と私は考えます。その心が、その声があざやかに見え強く聞えない現状で、私たちの最大の仕事は、心が見えるよう、声が聞えるようにすることです。

一九八二年を転機の年にしたい。もちろん、自由、平和、民主主義の年に向けて! 「燎原」の仕事の意義はますます大きくなるばかりです。ささやかな水滴が岩をくだく大海になる。いわんや生きた人間が集つて、岩を砕けないはずはありません。(橋女子大学々長)

おわび。

「燎原」を拝読しながら、いかに多くの先輩が、どんなに苦労して反動と闘つて來られたか、よく判り、頑張らなければ決意を新たにして来ました。「燎原」はある意味では指針の役割を考える人へ与えていると、それが考えれば考えるほど、その発展に微力をささげたいと私は思います。

先日亡くなられた畏友山田幸次君と昨年の夏一緒に上京して、全国革新統一懇談会に出席して、四方山話をしたなかで、彼は感概をこめて私に、「君こうして民主主義や平和を守る集会に気安く出られる自由は、僕らの若いときにはなかつたなあ。いまは自由がある。その間に自由を活用しなきやいかん」と、昼食のうどんをすりながら、語っていました。山田君が、木村さんや北牧さんたちとともに、最後の力を注いだ仕事が

あると私は思います。あの狂気を極めたナチスの集団戦略の脱出だつたが、軍備、増税、公債、インフレーション、物価騰貴という経済過程は、山田君の言った自由の剥奪の歴史でした。あげくのはては生命の

自由すら失なうことになってしまいました。

こうした歴史は私たちにとって単なる過去ではなく、私たちの体験です。私たちよりももっと長く深い歴史的体験をもつた人びとが、京都を中心に多くの波立ちの少なかった私にも、十五年間の数々の体験があるが、しかし五年間のうちに語られ、受け継がれるよう「燎原」に望んでやみません。

比較的波立ちの少なかった私にも、十一年間から大きな労働組合、政党まで叩きつぶしたのでした。より處を奪われた一人ひとりの人間の不安を利用し、組み込んでしまったのでした。私たちの作っている仲間組織ほど真実を知り、冷静に考え、行動する力を養うものはありません。「燎原」はそういう仲間組織になってくれるものに望んでやみません。

## 市民ぐるみで理想のまちと

### 新たな文化の創造を

今 川 正 彦

昭和五十七年の新春をむかえ、この新しい年が市民のみなさんにとって幸多い年であります。心から祈念いたしま

す。いまや時代は、「物質優先の社会」への反省の上に、そこに住む人々の人間らしい、豊かな、生活の質の向上と、それを包みこむ都市の人間性回復、そして個性あふれるまちづくりの時代へと大きく移り変わらうとしております。

昨年、市民のみなさんの熱烈な盛り上がりを背景に成立し、四月実施を目指しておられます。空きかん条例は、まさにこの新しい時代への先進性を示すものといえましょう。

平安の都以来、日本文化の中心として幾多の苦難を乗りこえながらも発展してきた京都のまちはあと十二年という指呼の間に建都二百年をむかえます。私たちといまこそ、京都のまちの歴史と文化の伝統をしっかりと、さらに市民ぐるみで理想のまちと新たな文化を創造していく第一歩をふみださなければなりません。

私はその一つとして、京都駅南口の「燎原」誌の世話をでも井垣さんや山

## 1982年を迎えての所感

昭和五十七年の新春をむかえ、この新しい年が市民のみなさんにとって幸多い年であります。心から祈念いたしま

す。いまや時代は、「物質優先の社会」への反省の上に、そこに住む人々の人間らしい、豊かな、生活の質の向上と、それを包みこむ都市の人間性回復、そして個性あふれるまちづくりの時代へと大きく移り変わらうとしております。

### 歴史的な府知事選挙

安 井 真 造

創刊のよびかけ以来、ご参加の皆さんの着実な増加と戦線の拡大を心から喜んできました。「燎原」誌の一層の発展を新年にあたって祈念いたします。

新年度の年賀のよびかけが、六〇年前の「全国水平社」「日本農民組合」「日本共産党」の創立の伝統をうけつぐことの宣言は、世話人の方々の抱負がうかがえ嬉しい限りです。

そして、私が指名のあつたことは、

田さんなど、まだまだ仕事をしていただけると思っていた方々を失いました。だれかがわかれが遺志をうけつけ、残されたわれわれが遺志をうけつけ、幾倍もの力を發揮せねば、の思いです。

早くも四年近くたった林田自民党府政は、自民党政権の政策・方針と関西財界の意図をうけての施策と、蛯川民政府の実績つぶしです。

新年度を迎えたので、会費または誌代のお払込みをおねがいします。会費は年額三、〇〇〇円で、誌代は年額二、〇〇〇円(送料共)です。但し会費には誌代を含んでいますから会員は無料です。

なお、旧年度の会費または誌代未納の方は本年度分と共にお納め願います。

もとより、京都市をとりまく状勢は、きわめてきびしいものがありますが、私はこの一年をだれもが安心してくらせる人尊重の、福祉豊かな、活力ある理想の京都を実現していく飛翔の時として市政の推進に全力を傾け、基本構想の策定をすすめ、長期展望に立つた計画に基づき、一步一步着実に歩んでまいりたいと決意いたしております。

市民のみなさんのあたたかいご支援をお願いして新年のごあいさつといたします。

昭和五十七年元旦

(京都市長)

ス。もとより、京都市をとりまく状勢は第十二位に落ちこんだのです。また中小企業の倒産は年間三百件の高水準がつづき、労働者の常用雇用指数(従業員三百人以上の企業)は一九七五年を一〇〇とするとき、一九八〇年には、全国平均一〇四・三になつてゐるのに、京都は九三・四と大巾に低下しています。活力ある府政どころか経済は一層困難です。

また高校進学率はかつてのトヅクラスが一九八一年には全国第三十九位にまで下がっています。活力ある府政どころか経済は一層困難です。

田さんなど、まだまだ仕事をしていただけると思っていた方々を失いました。だれかがわかれが遺志をうけつけ、残されたわれわれが遺志をうけつけ、幾倍もの力を發揮せねば、の思いです。

北部地方では関東西電力による久美浜原発、宮津・舞鶴の火力発電、中部では、瑞穂の産業廃棄物処理場問題などが、漁民や住民の要求を無視してすすめられようとしています。

アメリカのレーガン政権とわが国の大資本の利益に忠実な自民党鈴木政権と、これに追随協力する反共野党によってすすめられる臨調路線に、府民の力を結集して歯止めをかけ、日本の政治革新に向って、夜明けをつくる歴史的な知事選挙を開いて抜きましょう。

(日本共産党京都府委員長)

お。ね。が。い。

今年がついに四年目のめぐつてきた歴史的な京都府知事選挙の年だからと思います。私はその一つとして、京都駅南口の「燎原」誌の世話をでも井垣さんや山





## わが師大西貫主を語る

死生超越の心境

福岡精道

(1)

人格形成への道中なのであり、貫主もこの誓いの前における反省をこのように表現されたのである。

制御することなどは、僧侶にも一般人にも共通の徳目でなければなるまい。なかでも自分を犠牲にして真理に従い住み難い世の中を改めて、住みよい世の中を実現しようという共産主義者の精神と行為は、仏教のボサツのそれと同じといってよい。

(4) とばに、「正しいことを正しいといふのが宗教じや」がある。高齢にもかかわらず純粋で素直で、まじめな性格は天性のものであろうか。なじみのない来客でもあれば緊張されるし、内輪だけの集りでも、序論、本論、結論のきみとんとしたあいさつをされる気まじめさには頭が下がる。説教でも、人數の多少に関せず、時間の長短にかかわらず、全力をあげて大声で話される。

日本佛教界の最長老として、宗派を超えて尊敬されている人にして、この反省である。これは私たち仏教徒が仏前で誓う四大目標（四弘誓願）というの最後に、「仏道無上誓願成」といふのがあるが、この誓いに誠実であろうとする仏教者には、これが一人前になつたということはあり得ず、死ぬまで一人前になつたとは思えない」というのがある。

(2) 生き仏のように僧俗から親しまれ、敬まわれている貫主はあるが、人格完成者としてのブツダの前では、未完成の修行僧にすぎぬとの、謙虚な信仰供生活者の一面をこゝに見るのである。ついでに、四大目標にふれて参考に供したい。困難を克服して社会変革の理想を追求しようとする人には、これでよいという上限はないはずであるから、他山の石とするに足るであろう。

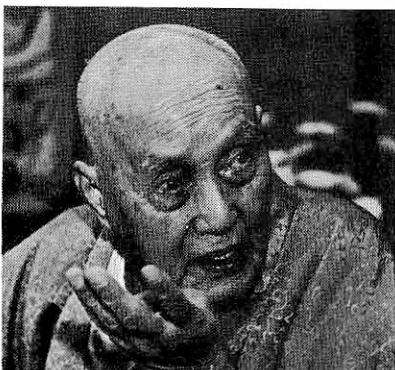
るのは、そこをきちんとつかんでおられるからであらう。数年前のことであるが、所用で伺候した時、仏教はほんとは共産主義だよと言われたことがあらるが、卒直で大胆な発言である。

貫主の政治問題に対する見識は、本質にすばりと迫る。先年、天皇が訪欧の途次アメリカの大統領と会われたことは記憶に新しいと思うが、あの時な

説教の中でよく出るのは「悪いことは思うだけでも悪い。良いことは思うだけでも良い」である。「法律は行動に出ないと罰しないが、宗教は心 자체を罰する」というのも、よく口にされる。目に見えぬ心を大切にする仏教、なかでも心の世界に鋭いメスを入れて心の構造を科学的に解明しよう試み

法門とは自覚者のブッダの説いた教えであり、仏教的真理である。仏教の真理は必ずしも仏教徒のみに通用するものではなく、一般の人々に共通する教えがきわめて多い、例えば無制限に貪る心を制限することや、真理に対する無知を戒しめることや、個人的怒りを

心身を浸して形成された思想や人生觀社会、國家觀などを考へると、何の不思議もないことである。むしろ、戦前



大西貫主  
近影

## 戦前の教育体験

### 大正・モクラシーの終えん

岡崎芳三

#### (一)私のうけた教育の思い出

田舎の小学校出の私が教師という職業に一生を捧げるようになつたのは、卒業の日担任の「師範学校にいかないか」という一言による。時に大正十五年三月二十五日。

師範学校（専攻科を含めて）六年の生活は概して単調なものだつたが、学校には自由があつた。ずっとゲートルを巻かずに入学するといふのもその一つだつたろう。師範学校生徒とは将来「小学校の教職につく」ことを義務づけられていたので、私は落第されなければよいのだと、学科には力を入れず、もっぱら文学作品の耽読に全精力を費やしていた。それも外国文学に傾倒していく。これは田舎出の少年に限りない魅力であり、「人生」とは自分にとって何なのか」と問いかける発端となつた。

「軍事教練」には矛盾を感じなかつた私にも、四年の時の朝鮮旅行に京城でみた光景、朝鮮総督府の建物が、景福宮を威圧するかのよう、と居坐つてゐるのを目撃した時は、實に嫌な気がした。そして前々日慶州での出来事を思い出した。師範の修学旅行でよく小学校を參観して、私たちより美事な日本語を使っていて、感服さし

子らが、その夜散歩に出ていくと、ひとりも日本語を使つていないことを發見したことだつた。それは満洲事變の起る前年五月のことである。奉天、旅順、大连で目に映る光景は、平和の謳歌そのものだつた。――「少女は知らず亡國の恨み」の逆の朝鮮の人ひとの気持、それはそのときの心の偶に引つかかりはしたが、やはり私は勝利者の目でしか見ていなかつたのだ。明治以来の侵略的軍事主義日本の眞の姿を内地で見あらわすほどの英知を持っていない私が見ていなかつたのだと、私は悔しかつた。

私の赴任したのは平安神宮の北の錦林尋常小学校と言い、当時は男子ばかりの学校であった。当時の学校は現在の教育委員会の統制がいきわたつてゐるのと違つて、それぞれの学校で個性が生きているという一面もあつた。ということは、校長の方針によつて随分と学校差があつた。もちろん、「教育勅語」の具現という最高方針は共通であつてもそれは建前であつて、實際には私は通用しない世界、そして何事も最初が大切といううことの發見であつた。

私の隣りで起居した友は、一度銃口検査の時に暴りがつたとかで、その後毎回直しをせられていた。当時は昭和八年といふのに、兵営生活は案外のんびりしたものであつた。一つ例を挙げると、除夜の時班長は一度軍服を着て帰るよう勧めはしたが、従つては半数以下だつた。

#### (二)五ヶ年の短期現役生活

こゝで痛感したことは、「天皇陛下の軍隊」という聖域は、眞面目一点張りは通用しない世界、そして何事も最も多いにやりたえのある楽しい学校で、これが大切なことの發見であつた。

私は、月給など校長室で校長になりたが。それは月給などは他校と同様だつたが。

#### (四)学力向上一本槍

これにプラスにならぬものは切捨てられてはいたようだ。教員の所在を示す出勤札は校長室にあつたが無視する者が多く、その移動は日直か宿直が左から右に移動さすのが常のようであつた。

赴任の挨拶に行つたとき、まず御影奉安庫の前に導かれて最敬礼。そして非常の時にどう御真影を安全場所に移すかを開かされた。その後重要書類

◆想独・伊と日本の国民  
齊藤雷太郎

◆想獨・伊と日本の国民  
齊藤雷太郎

ビットラーは、ベルリン陥落と共に死んだ。生残ったナチスの主要なメンバー達は、彼等の間でも秘密にしてある。かれ家に姿をかくした。連合軍は追求の手はゆるめなかつた。ナチス一味は、レベルの高い者も低い者も、多くはつかまつて処分された。

ドイツは東西に分割された。西ドイツは、ナチスのユダヤ人虐殺の罪を裁くため、時効を二回も延期した、そして戦犯を、永久訴追する法案を議決した。戦争犯罪人に対する、西ドイツのきびしい姿勢を、世界に示したといふ。

イタリア政府は、ムッソリーニを法廷で裁くつもりでいたが、民衆はゆるさなかつた。街の広場にさかづりにさされた。ムッソリーニとその情婦の死体は、ニュースに撮られて、世界中で映された。

◆想獨・伊と日本の国民  
齊藤雷太郎

天皇はホットしたようであつた。八紘一字や聖戦の旗を高くかかげた。十五年間の侵略戦争が、無条約降伏で終り、天皇は戦争責任を問われる立場になつた。それが米英諸国との政治的な

#### (三)小学校教師としての思い出

出勤時間は授業におくれなければよく、退出は自分の時間が終れば自由、私たち若い四人はよく、校下を歩きまわったものである。

職員会議も学期末に一回きりだが、誰も不便と思っていなかつた。そのかわり、学年会は毎週持たれだし、職員室では学年別に席があるので、昼休みなど格好の相談時間だつた。未熟な私には何でも持ち出して教えてもらえる時間であった。学期に一回、それは国語、数学の二科目だったか(?)各人くじで出題範囲を決めて、採点も全学年を通して出題者が採点し、くわしい統計を出し、各自の反省に資していた。

ほかに小規模の試験でも、他の学科でも資料の交換などは多く、互いに励みあつた。

### (五) 太平洋戦争下の学校生活

ところがこんなじつくり、腰をおちまけての授業は十年足らずで終つてしまふ。太平洋戦争突入を境として、個人の自由は急速に奪われていつた。私たちの学校には露骨な圧力こそなかつたが、軍靴の足音は響いてくる。それはまず教師への洗脳から始まり、私たちの学校を通して子供へと迫つていく。もうじっくりと教室で勉強していられる。戦争末期になると、小学校などいいうのに軍事訓練まがいの分列行進まで行なわれる。避難訓練はしょっちゅう、敗戦の年には警戒警報とともに集団下校、集団疎開、その後の校庭がイモ畑とかわるともう学校ではない。教師の生活も例外ではなく、食料には苦労する。これは親子五人、一人の収入で間物資は一

切買えぬ。或昼食には飯ごうに团子三つほど浮いた水とん—私は偶然目撃したことがある。

「欲しがりません勝つまでは」は誰も口にした言葉であったのに、保護者から聞けば、近くの料亭には木炭自動車で軍の上級将校が日中から出入りをしているとか、××に敵の降伏勅告のビラがまかれても、謀略と信じなかった。しかし、心の底では理性が承知しなかつたことも、また否定できない。要するに大なり小なり私たちは矛盾に苛まれていたのだろう。

### (六) 終戦のあと

世界に冠たる万世一系の天皇国家、忠孝本など、單なる付け焼刃にしかすぎなかつたことを知つたのは、昭和二十年の八月十五日、その日は私たちにとって「残念な敗戦」だったのか、又は「やっと終戦」だったのかを、はつきりと口に出さしてくれる日だった。

その年の十二月二日には早くも日教組の前身の「日本教育者組合」が、京都では翌年六月一日に「京都市教員組合」が結成され、錦林校でも分会が結成し、全員組合員になつた。こんな底力のみんなが持つていていたことを、私は知つたのだった。私はこの思い出をトルストイの「復活」の冒頭の文で締めくくりたいと思う。

二男に生まれ、何の疑問もなく、親の言うままに、いずれは商売人になるつもりの自分でした。小学校に入学したのが昭和四年。以来昭和十八年十二月に学徒出陣で兵役に就くまでの期間は、一度あの十五年戦争の時期と合致します。恥しい話ですが、当時は「聖戦」への疑問を持つ余裕すらなかつた自分がいました。私の周囲の友人たちも、概ね同様の心境であつたようです。私たちがあのような心境にかり立てたものは何だったのか?それは教育の力ではないのか?それとも増して私の驚きは、あの戦前、戦中の激しい思想弾圧の中での

とき、戦争の犠牲をとおして獲得したとき、戦争の間近かという危機のとき、戦争の犠牲をとおして獲得した自分たちの強さ、たとえ一本のはかない雑草でも、手を握り合えば何事でも成就するということを知つた私は、もはやたじろかぬ決心である。

## 教育の力 梅田晶三

旧友田尻博一君の勧めで、昨年三月入会させて頂きました。毎月の『燎原』を興味深く読ませてもらっています。戦前、戦中は軍国主義思想にドップリ浸つて過ごした自分だけに、当時の諸先輩の苦難の闘いの足どりは、どれも驚きと畏敬の念なしには読み通すことができません。

私事で恐縮ですが、下京の呉服商の二男に生まれ、何の疑問もなく、親の言うままに、いずれは商売人になるつもりの自分でした。小学校に入学したのが昭和四年。以来昭和十八年十二月に学徒出陣で兵役に就くまでの期間は、一度あの十五年戦争の時期と合致します。恥しい話ですが、当時は「聖戦」への疑問を持つ余裕すらなかつた自分がいました。私の周囲の友人たちも、概ね同様の心境であつたようです。私たちがあのような心境にかり立てたものは何だったのか?それは教育の力ではないのか?それとも増して私の驚きは、あの戦前、戦中の激しい思想弾圧の中での

理由によって、戦犯被告にならなくてすんだからである。

小大名程度の生活から、未曾有の富裕な生活にかわり、「現人神」として尊敬をうけ、権威と権力をにぎった明治天皇から、大正天皇、昭和天皇と三代続いたが、独善的な軍部の策謀をおさえることが出来ず、政治と軍事の大権を持つ昭和天皇の時代は大きな汚点を残して、昭和二十年八月十五日で終つた。

(八めんづづき)

天皇として生残ることになった。「現人神」から「人間宣言」と大きく変わることも、モーニング姿で、米大使館を訪問、軍略姿のマッカーサーとなるで撮つた写真が、でかでかと新聞に出たことも、独と伊の首能者達が戦争犯罪人として、どんな処分を受けたかを知つてゐる天皇にとっては、幸運な結果で終つたと言えよう。

米英諸国との政治的理由とは何んであつたか、自衛隊の発生から、現在までを見れば想像がつく。押しつけ憲法は悪い、押しつけ軍備は良いの、反動勢力に負けてはならない。米ソ戦争の先陣役だけはごめんだ。1981.12.23.

侵略戦争の本質を見抜き、生命をかけて戦争に反対した人々がいることでした。私の周囲の友人たちも、概ね同じに集まつて、自分たちのひしめき合つてゐる狹苦しいそここの地域を改善しようと思つて、どんなに石を敷きつめてもさらにまた、萌え出るあらゆる小草をどんなにきれいにむしり取つても、石炭や石油の煙は、親子五人、一人の収入で間物資は一

切買えぬ。或昼食には飯ごうに团子三つほど浮いた水とん—私は偶然目撃したことがある。

「欲しがりません勝つまでは」は誰も口にした言葉であったのに、保護者から聞けば、近くの料亭には木炭自動車で軍の上級将校が日中から出入りをしているとか、××に敵の降伏勅告のビラがまかれても、謀略と信じなかった。しかし、心の底では理性が承知しなかつたことも、また否定できない。要するに大なり小なり私たちは矛盾に苛まれていたのだろう。

依然として春だった。(原久一郎訳)

理由によって、戦犯被告にならなくてすんだからである。

小大名程度の生活から、未曾有の富裕な生活にかわり、「現人神」として尊敬をうけ、権威と権力をにぎった明治天皇から、大正天皇、昭和天皇と三代続いたが、独善的な軍部の策謀をおさえることが出来ず、政治と軍事の大権を持つ昭和天皇の時代は大きな汚点を残して、昭和二十年八月十五日で終つた。

天皇として生残することになった。「現人神」から「人間宣言」と大きく変わることも、モーニング姿で、米大使館を訪問、軍略姿のマッカーサーとなるで撮つた写真が、でかでかと新聞に出たことも、独と伊の首能者達が戦争犯罪人として、どんな処分を受けたかを知つてゐる天皇にとっては、幸運な結果で終つたと言えよう。

米英諸国との政治的理由とは何んであつたか、自衛隊の発生から、現在までを見れば想像がつく。押しつけ憲法は悪い、押しつけ軍備は良いの、反動勢力に負けてはならない。米ソ戦争の先陣役だけはごめんだ。1981.12.23.

侵略戦争の本質を見抜き、生命をかけて戦争に反対した人々がいることでした。私の周囲の友人たちも、概ね同じに集まつて、自分たちのひしめき合つてゐる狹苦しいそここの地域を改善しようと思つて、どんなに石を敷きつめてもさらにまた、萌え出るあらゆる小草をどんなにきれいにむしり取つても、石炭や石油の煙は、親子五人、一人の収入で間物資は一

切買えぬ。或昼食には飯ごうに团子三つほど浮いた水とん—私は偶然目撲つても、一春は

切買えぬ。或昼食には飯ごうに团子三つほど浮いた水とん—私は偶然目撲つても、一春は

# 父兼光の思ひ出(完)

## 細迫朝夫

(1)

一九二八年二月、普選による最初の国会総選挙。空前絶後とも称すべき大弾圧の嵐の中で、労働農民党は二〇万票近くを獲得、京都一、二区から水谷長三郎、山本宣治の二名の当選を実現したことは周知の通りである。無産政党のなかで、とくに地方において、政党のなかで、とくに地方において、抜きんでたその成果は、勤労大衆の同党への熱い支持・期待の証しと言わねばならない。

同時に、この総選挙において、共産党が労働農民党から候補者を立て、その公然化の第一歩をふみだしたことにおいても画期的な意味をもつた。その前年、コミニンテルンのいわゆる二七年テーマにもとづき、党の大衆化、公然化をめざしての「再組織」に着手していたことも、周知の通りである。その矢先、三・一五事件。父もこのとき、十日余り検束されている。そして、四月十日労働農民党など三団体に解散命令。このときの「百度解散、百度結党」という言葉ほど父にふさわしい言葉はないようと思われる。父の墓碑には末川博先生のお筆をお願いして、この言葉が刻んである。

「新党準備会」から、このとしの暮れの転換。このとしの夏、コミニンテルンの結党大会、大会最終日の解散命令、そして「政治的自由獲得労農同盟」へ第六回大会、この大会において、階級

闘争の戦術は、いわゆる「階級対階級」の戦術が確認され、セクト主義的傾向が強まり、統一戦線組織にそれは大きく波及することになる。その波は新党結成大会の直前に、運動主体内部の困難、いまそれにおられる余裕はないが、私は身につまされる想いがする。

(2)

三・一五事件被告のひとり、村山藤四郎の獄中から父宛の書簡(30年五月廿三日付)の一節を引用しておく。

『『これから先も貴君らが元気でゐてくれる事が何よりの外に居るものへ激励です。健康は精神から!常に闘争精神に燃えてゐて下さい』の御激励感謝しつつも、なぜ今更こんなことをワザと仰っしゃられるのか、一寸異様に感じたのでしたが、そのなぞは、昨日水野浅野のハガキに接して解けました。全くアキレ返つたことでした

河上肇先生の父宛書簡については、さきに述べたが、それは先生の出獄後も続いている。

直後の三七年六月廿三日付書簡の一節。

『昔の事を語り得る友人も今は殆んど一人も居なくなりました。私は獄中でも度々一度あなたとゆっくり雑話に耽り得る機会をもち得たならばと思ひ思ひしてゐたことです。あなたの御文章にあつた『雑草のやうな生活』は至極結構に存じます。』

同年十月一日付、

(5)

『いつかのお手紙にあつた『雑草の如き』現在の御生活に御安心の地をお見出しになつてゐます御様子が紙面に溢れてゐまして、まことに和かな感じを受け、うれしく存じます。偶然に出会つた或る場面でひと役済ましたものが、いつまでも同じ場面に出て踊ります。小岩井兄、大兄、河上先生等は決して共産主義者ではなく、また今日の日本に於て共産主義者たる資格に欠けて居られる(思ひますが併し同じく)』

四年、父は小野田市長であつた義兄の急逝のあと、市会の強い推薦をうけて市長に就任した。献身的に情熱を市政に傾注していた、と私にはみうけられた。航空兵を志願して世間を驚かされた。市政への献身的日々は、しさえた。市政への献身的日々は、あの書記長時代の冷静さを再現したかの如き觀がした。広報に対する熱いからは、労働農民新聞編輯をほうふつせしめた。これほどやつてゐるのに、特高はなお広報のすみずみに目を

他大衆運動への掲載』を訴えている。この問題に対する父の態度、実践については既述の通りである。

この書簡の欄外の『※』に『死ぬことはできるが、壁のなかにはどうしても入ることができない』(消されているが)と注が書かれている。

少くとも父については、前号でふれ合法的活動の場に自らを位置づけたことから生ずる限界について、言いえど妙の感がする。

とはできるが、壁のなかにはどうしても入ることができない』(消されていいるが)と注が書かれている。

少くとも父については、前号でふれ合法的活動の場に自らを位置づけたことから生ずる限界について、言いえど妙の感がする。

住時を語りあえる殆んど唯一の友として当時の父に接してみえた様子が、数通の書簡にうかがうことができる。

しかし、丁度このとし執行猶予の期を終え、弁護士資格を回復した父は、依然として保護觀察下におかれていた。さらに日中戦争へと深みにおちこんでいた帝国主義が、このファシヨン的制度を利用しない筈はなかった。このとしの秋、広島保護觀察所は父に「支那観察団」の團長を強いた。(呼び出しの電報、その返電文など残されているが、それをみると父の苦腦を痛々しく感ずる。)

これが大きい契機となつたように思われるが、思想転向の道を父もまた歩みはじめた。河上先生が其感を示された「雑草の如き」生活は、政治的自由に対するファシヨン的弾圧下に父の選んだ生きる知恵であったようだ。これに関わっては別の機に譲るほかない。

これが大きな契機となつたように思われるが、思想転向の道を父もまた歩みはじめた。河上先生が其感を示された「雑草の如き」生活は、政治的自由に対するファシヨン的弾圧下に父の選んだ生きる知恵であったようだ。これに関わっては別の機に譲るほかない。

# 燎原の火の如く

田村敬男

昨日僕は、"或る生きざまの軌跡"（人の綴りしわが自叙伝）という厚かまい書物を、喜寿を人生の一区切と考えて、六十七名の方々に執筆してもらつて刊行した。

この書を刊行して、一年もたたぬうちに、この執筆者の中で既に三名が不帰の客となってしまった。

○

その第一は、高橋松藏君である。君は色川善助君を中心に救援活動や出版者としての初期の活動を、暖かい目で促え、豊かな愛情をもつて書いてくれた。

その第二は、品角一郎君である。君は戦後の僕の活動の中で、破防法事件を契機に、国救中央本部総会に訴えて組織した憲法擁護全国大会をいとも詳細に、刻明に記録的価値のある文書を病床で書いてくれた。恐らくこの種の力作としては、彼にとって人生最後のものではなかつたろうか。

その第三は山田幸次君である。

彼は僕の原稿依頼に、一度は健康を理由に丁重に断つて来た。僕はあきらめていたら、九月初めに、まだ間に合うかと問い合わせてくれた。原稿依頼は六月二十日、〆切は八月三十日であつた。本は十一月一日、東京で宇都宮徳馬君が呼びかけて、銀座並木通り三笠会館本館で、僕の喜寿と、この出

版記念会を開いてくれることが決定されているため、一切厳守で依頼したのである。

このことを山田君はとても気にしてくれて、何とかして書くと言つてくれた。君は戦後共に闘つた在中國同胞の帰國協力の運動、中国人殉難者慰靈祭や、李徳全女史の歓迎実行委員会の次長として、僕がやつた円山大会のこと、公安条令廢止期成同盟の活動など、いきいきとした名文で、これまた後世資

幸次さんのかわりに燎原の世話人として「会場とりをやるよう」とのことで、そのくらいのお手伝いならしなければとお引受けしました。どうぞよろしくお願いいたします。

山田さんら長老議員が引退されて、私も議員団の仕事がいそがしくなりました。とても昔をふりかえるいとまもない毎日ですが、

世界の良識あるひとの心をいためていることがあります。しかし、科学的平和と進歩を進める大きな力となつてゐることも事実です。アフガニスタンへの軍事介入やボーランドの軍政などをめぐる事件を契機に、国救中央本部総会に訴えて組織した憲法擁護全国大会をいとも詳細に、刻明に記録的価値のある文書を病床で書いてくれた。恐らくこの種の力作としては、彼にとって人生最後のものではなかつたろうか。

その第三は山田幸次君である。

彼は僕の原稿依頼に、一度は健員もずい分若くなっていますので、だいたい私などが団の伝統を発展させるこの先頭に立たなければなりません。

料的価値ある文章をものにしてくれた。それなのに急逝されてしまった。しかし、注ぎこまれた情熱がいかなかし病症を知ると、この文章を書いてくれた頃、病魔は君の肉体を蝕んでいたのである。君の友情に対しても僕は静かに頭を垂れる。

○

光らせていると憤然としたこともあった。しかし、注ぎこまれた情熱がいかなかし、研究者が評したように、シェーブであると言えば、確かにそのような側面をもっていた。

河上先生は、父の市長就任に祝辞を寄せられている。しかし『自叙伝』における、獄中で転向後の佐野学との静かな先生の会見記を読むと、すでにこのとき父に対する心のうなる評価は固まつたのではないかと思う。『自叙伝』における父への認識の基本は、私先生に手紙を認めたところである。こ

も当つていると思う。

節操を何よりも重んじた父の、戦後における思想的、政治的節操への執着は、戦中のあの経験に発していると思えてならない。

人生と政治、この重さを私は改めてかみしめている。（立命館大学教授）

の一文が世に出るころには、候補者は確定されるであろうが、社、共統一をなくしては、革新統一は骨抜きになる。

最後の最後まで、統一に向つて努力すべきであると、僕は信じてゐるし、そのための行動はおしまない。

平和勢力に確信と勇気を与えて、大阪東京の政治戦に勝利し、改憲、戦争勢力に痛棒を喰わすためにも、今度の知事選には勝たねばならぬ。何としても勝たねばならぬ。でなければ後に残つた者の務めが果たされない。

山宣にも、先に逝つた同志たちにも顔向けが出来ないではないか。（一九八一年一二月二二日）

（京都市会議員）

京都　吉田　平  
　　燎原　「毎号送つていただきてすみません、興味深くよませて戴いています。編集には一きはご苦労だと思います。わたしの知らないこと思い出すこと、燎原『ならでは』と思ひます。なつかしい人の名前も出て毎号がたのしみです。  
御健康を祈ります。  
(山科区東野井ノ上町一五一二九)  
京都　松尾　尊之  
　　いつも、燎原『御送付』いただき、まことにありがとうございます。  
　　三ヶ年分の誌代として金六、〇〇〇円をお送りしました。  
　　向寒の砌り、ご健康をお祈りします。  
(右京区水上田町七番地ノ十三)  
京都　君和田和一  
　　燎原の誌代をお送り申上げます。  
　　編集のみなさま、よいお年をお迎え下さい。(山科区西野阿芸沢町G棟一〇〇一号)  
暮れもいよいよ押しつまり、世情のインパクトも著しく感ぜられますが、皆さまにはますます御活躍、心強く存じております。会費の納入おくれて申訳ありません。

○京都 田中豊藏 每号、燎原<sup>を</sup>を御送り頂き御礼申上げます。小生腰痛で御無礼申してすみません。誌代おそらく申訳ありません。二一号受取りました。皆さんお元気で活動下されますようお願い致します。(南区東九条西山町二一二)

○大阪酒井一 前略、いつも燎原<sup>を</sup>楽しく拝見いたしますております。益々の御発展をお祈りいたしております。

さて、当方の郵便番号がまちがっていますので御訂正の程お願い致します。

(〒573 牧方市楠葉花園町五番、五号館七〇九号)

○神戸田中三 先日は亡夫(松次郎)の若い頃の事をお知らせ頂き、子どもと共にうれしく拝見いたしました。

誌代二、〇〇〇円とカンバとして三〇〇〇円計五、〇〇〇円お送りします。

京都は寒いことと 思います。お元気でお正月をお迎え下さい。

(明石市宮ノ上二番一〇一四)

○兵庫重本健治 (前略)、今度停年退職のため社宅に住めなくなり、左記に移転しました。

ボーランドの情勢急を告げ、益々米帝の思う様になりつゝあります。平和維持のため日本人民の力が必要となつてきました。

貴誌の益々の御発展、拡大が急務と存じます。先は移転通知を!

(宝塚市幸布山手町七一五、ハイツローゼンブルグ八号)

# 1982年元旦 明けましておめでとう!

(順不同)

住 谷 悅 治	糸 井 一	中 野 信 夫	飯 田 助 左 衎 門
京大名誉教授 左京区下鴨北園町四一六三番 電話七八〇一九三三番	稻 田 達 夫 左京区下鴨北園町七五〇八番 電話七八一〇五〇六六番	細 野 武 男 北区小山上総町四三二七五番 電話四三二一四二七五番	橘女子大学学長 北区ケシ山一番地 電話七〇一五八八三番
重 沢 傑 郎 左京区高野沢淵町一四番 電話七八一六九一四番	和 田 洋 一 左京区下鴨下川原町四六 電話七八一四二八番	大 原 健 次 左京区高野玉岡町一三〇六六番 電話七八一〇六六番	細 野 迫 朝 夫 立命館大学 北区衣笠萬橋町四〇 電話四六三一三三四二三三番〇
塩 田 庄 兵 衛 立命館大学教授 左京区田中関田一四一〇二四三三番 電話七八一〇一九三三番	浅 井 清 信 竜谷大学教授 左京区下鴨岸本町五〇一九番 電話七八一〇一九番	馆 長 田 村 敬 男 生活公害協議会々長 自宅 左京区下鴨松ノ木町六〇四番 電話七八一五四五〇四六六番	教 授 細 野 朝 夫 立命館大学 北区衣笠萬橋町四〇 電話四六三一三三四二三三番〇
中 島 せ き 左京内職友の会 左京区高野泉町一二八二三番 電話七八一〇一九三三番	浅 井 元 子 生活公害協議会々長 自宅 左京区下鴨岸本町五〇一九番 電話七八一〇一九四四番	小 林 義 治 東山企業組合 北区小山上総町八二 電話四三一〇七三五番	憲法を守る婦人の会代表 矢 野 恒 範 電気工事店 右京区宇多野御屋敷町一九五九一 電話四六三一九五九一七番
山 本 浩 治 やまもと内科 北区小山南上総町一七一三番 電話四一八七七一三番	佐 々 木 義 雄 北区紫野中柏野南町一一一 電話四九一九五八五五番	木 村 京 太 郎 部落問題研究所 右京区太秦一丁芝町六一九 電話八七一一六七七七番	和 田 美 代 憲法を守る婦人の会代表 矢 野 恒 範 電気工事店 右京区西京極東側町二五 電話三一二一三〇四七七番
横 村 庄 一 郎 医 師 下京区大宮通松原下 電話八四一〇二三八〇番	木 村 京 太 郎 右京区鳴瀧川西町八一二 電話四六二一五九八番		

# 1982年元旦 明けましておめでとう!

(順不同)

立本寺住職 細井友晋	上京区北野一六五町一六〇番 電話四六一五六二六番	秋田清二郎 自営業 上京区東三本木丸太町上る 電話四六一三八七五番	斎藤雷太郎 新婦人の会代表 上京区今出川通千本西入る 電話八一三八七五番	斎藤英三 中京区河原町御池下る東入る 電話二三一四四一六番	児玉誠 中京区西ノ京南円町七一 電話八一一七六四六番
薬剤師 南井吉五郎 ミナイ薬局 中京区千本聚 電話八一一本 一出世四一 八八なり 八八番下る	役員井上壹代松 東和企業組合 上京区大宮 電話四四一 一七若宮通 鞍馬口上 七堅一九 七五九九 番上る	品角小文 新婦人の会代表 上京区竹屋 一十三三 智恵光院 五五番上る	斎藤雷太郎 自営業 上京区今出川 通千本西入る 電話八一三八七 五番	斎藤英三 中京区河原町 御池下る東入る 電話二三一四四 一六番	児玉誠 中京区西ノ京南 円町七一 電話八一一七六 四六番
加藤護一 東山区泉涌 電話五六一 八四林九 六番	僧侶福岡精道 清水寺 東山区清水 電話五五 一丁目三 三四番	北牧孝三 僧侶福岡精道 清水寺 東山区清水 電話五五 一丁目三 三四番	田中豊藏 南区東九条西 山七〇六二 電話六八一 五九九四番	斎藤英三 中京区河原町 御池下る東入る 電話二三一四四 一六番	児玉誠 中京区西ノ京南 円町七一 電話八一一七六 四六番
渡辺美登 伏見区淀 電話三六一 二津〇七五 七番	中村富三郎 伏見区納 三一二九〇一 番	西村清三 伏見区桃山 本多上野一 六二五番	井上秀雄 伏見区東堺 町四一五〇六 三番	松永栄 電科区安朱山 川町五七〇七 一一番	細川三西 東山区泉涌寺 東林町三九 電話五四一 四七七七一 番
細見幸基 福知山市字 七七三(二二 五五〇六番	清水定平 会社員 向日市森本 一九二〇一 七三三一 七二七番	蓮仏享 建築・設計 宇治市南陵 町二丁目一 一四二二一 七二番	楳正博 宇治市広野 町桐生谷六 一七七四一 八三三一八 番	杉山茂 宇治市広野 町桐生谷六 一七七四一 八三三一八 番	日本美術会会員 画家伊達義三郎 伏見区深草西浦 町六一五 電話六四三一 八三五三番 ののめ五 莊

# 1982年元 旦 明けましておめでとう!

(順不同)

<p>大阪労働運動史研究会 電話〇六一〇六二〇七番 大阪市北区西天満 （三森町一四四番地） 高田鉱造</p>	<p>鴨脚光増 大阪市西淀川区野里 （七六一四番地） 西淀川病院院長（医師） 電話〇六一四一七三 中郡大宮町口大野 （四一四番地） 吉岡範之 高校教員 電話〇七一六〇七六四 （四一一番地）</p>	<p>京都（きょう）に“煙”あり 1965年 創刊 只今 42号 戦前日本プロレタリア文化運動の生き残り 10名（68～78才）が出している異色の同人誌、埋れた青春像の発掘を柱に詩・歌・小説・エッセイもあり、各地、各界、各層からの便りを“声”欄に収めているのも特色</p>
<p>伊東剣之丞 電吹田市内一本町八一丁目八一五 （○九四三番地）</p>	<p>吉田泰三 東大阪市足代三 （七二一三番地） 電話〇六一七二五二 （五二番地） 奈良市西木辻二 （二二五三〇番地） 吉岡谷実 理療法士 岡谷会 電話〇七四二二二 （一〇一番地）</p>	<p>A5判 60頁 領価500円 〒200円 「煙」同人社 京都市中京区西ノ京南円町71 児玉誠方 電話 京都（075）811-7646番 振替 京都 15653番</p>
<p>村中嘉明 機械組立工 （石川県小松市古三二町八五三番地）</p>	<p>小島克己 尼崎市武庫之荘一一二〇一〇 電話〇六一四三八二四九八 （八番地） 西宮市石刻八一三〇一八 （二〇六番地） 松本広治 会社役員 電話〇七九八一六二二〇六 （八番地）</p>	<p>鳥越巖 神戸市長田区池一田上九町一三五番四 （四番地） 大阪府不當解雇反対同盟 代表委員寺嶋二郎 （大阪府東区大手前府合気道附内） 武田大蔵 大阪市平野区加美南 （一五二〇番地） 電話〇六一五一四二一 （二十番地）</p>
<p>葵タクシ一株式会社 代表取締役 蟹江邦彦 本社 伏見区竹田久保町63の5 電話 641-7124番 自宅 東山区宮川筋5丁目325 電話 531-5657番</p>	<p>平井重太郎 旧名 斎藤民之助 福岡市西区荒江一三丁目九 （九番地） 手塚亮 （福岡県苦田郡加茂町桑原三二六 （七二七番地） 美作部落問題研究会 副会長 近藤一男 （東京都板橋区大原町三七 （七二七番地）</p>	

# 1982年元旦 明けましておめでとう!

安井病院	左京区田中飛鳥町八九 電話 七〇一一六一一一五	川端診療所	左京区川端通り夷川上る 電話 七七一一六二九八番	東山診療所	東山区今熊野宝藏町四三 電話 五六一十五五〇〇番	北病院	北区紫野上築山町三二 電話 四三一一六一七一一三
久世診療所	南区久世殿城町三三 電話 九二一一三五三五番	吉祥院病院	上京区千本通上立売上る作庵町 電話 五〇四 一五二三二八二番	朱雀診療所	右京区西院下花田町二一 電話 三一一三一七六番	右京病院	中京区西ノ京小堀池田五 電話 八一一一五一六六番
九条診療所	南区東九条御靈町二 電話 六九一一七五八八番	仁和診療所	上京区仁和寺街道御前西に入る下 横町二三〇 電話 四六二一一五一〇番	春日診療所	右京区京永本町一九 電話 八二一一三二八二番	盛林診療所	上京区黒門通下立売下る森仲町 電話 六〇〇 一四五九三六番
京都民主医療機関連合会	右京区西院久田町九 九全京都建設会館五階 電話 三一二一八五七三番	京都医療事業協同組合	近畿高等看護専門学校 町東入主税町一二五四 電話 八四一一七四三〇番	膳所診療所	大津市昭和町七一一六 電話 大津二四一八一一四番	柏野診療所	北区紫野中柏野町六二 電話 四六一一八八一一番
				あやべ診療所	綾部市本町四一一六 電話 二三一一三八〇三番	かも川診療所	北区出雲路俵町一五 電話 二三一一三八〇三番

## 京都第一法律事務所

中京区衣棚夷川上る吉田ビル3階 電話 211-4411(代)

### 弁護士

稲村川中渡加藤	五男宏司英範	山川山森田崎谷	晃明幸子信和子	井藤近渡事務局員一同
---------	--------	---------	---------	------------

## 柴田茲行法律事務所

中京区丸太町通高倉東入る タカハシビル3階  
電話 256-3971(代)

### 弁護士

柴田茲行

1982年  
元旦

## 明けましておめでとう!

京都府商工団体連合会	右京区西院東中水町
府中小企業会館	電話 三一七一七一〇一(代)
北民主商工会	上京区西賀茂南川上町二五
電話 四九二一〇六三番	
上京民主商工会	上京区仁和寺街道千本東入
電話 四三二一六一六一(代)	
中京民主商工会	中京区西賀茂南川上町二五
電話 三三二一〇一〇一(代)	
下京民主商工会	下京区七条新町東入
電話 五六一七三八一(代)	
南民主商工会	南区東九条河辺町二九
電話 六六一〇九〇一(代)	
左京民主商工会	左京区田中西大久保町二一
電話 七二二一三三三〇番	
東山民主商工会	東山区東大路松原上る東入
電話 五四一五一六一七	
山科民主商工会	山科区柳辻中在家町二八
電話 五二九一五八六八番	
右京民主商工会	右京区西院上花田町三六の三
電話 三二二一三五七番(代)	
伏見民主商工会	伏見区桃山毛利長門西町一
電話 六二二一三三三番(代)	
宇治民主商工会	宇治市横島石橋三三
電話 ○七七四(二三)八〇一(番)	文本ビル
個人タクシーリンク	左京区田中西高原
丹後民主商工会	中郡峰山町荒山大坪四二五
電話 ○七七二六(2)一四三九番(代)	

## 京都中央法律事務所

中京区鶴居町通二条下る 第二ふや町ビル5階  
電話 222-0461(代)

## 弁護士

筋 立明	久米 弘子
中島 晃	中山 福二

## 京都南法律事務所

伏見区深草西浦町7丁目67 ダイケン・ジョアビアル3階  
電話 643-3373(代)

## 弁護士

所長 平田 武義	岩佐 英夫
中尾 誠	田中 伸

1982年  
元 旦

## 明けましておめでとう!

自治労京都府本部

委員長 吉田 平

中京区壬生仙念町(労働者総合会館内)  
電話 八〇一一八一八六一九番

中京区河原町御池(京都府役所内)

電話 二四一ー八二三番

京都市職員労働組合連合会

委員長 大島久次

左京区丸太町通新道上る(京都府教育会館内)

京都市教職員組合協議会

委員長 安井真  
副委員長 梅田広  
田中善  
男弘勝造京都市立高校教職員組合(電話七七一ー九一七一番)  
京都市立高校教職員組合(電話七五一一六四五番)

京都府職員労働組合

委員長 大江 洸

上京区下立壳釜座(京都府役所内)  
電話 四三二一三〇〇六番

日本共産党京都府会議員団

団長 西山秀尚

上京区下立壳釜座(京都府役所内)  
電話 四五一八六二二番

京都府職員労働組合

委員長 三村義夫

中京区河原町御池(京都府役所内)  
電話 二二二一三八八三番

日本共産党京都市会議員団

団長 三宅勝

中京区河原町御池(京都府役所内)  
電話 二二二一三七二八番